



西小だより

桐生市立西小学校
令和7年度
NO. 13
令和7年11月7日

6年生「狂言教室」で伝統芸能に触れることができました！

10月29日（水）6年生を対象に「狂言教室」を開催しました。この日は、東京から狂言師の方々をお招きし、日本の伝統芸能の狂言、本物に触れる貴重な機会となりました。披露された演目は「柿山伏」でした。狂言の有名な演目の一で、修行を終えた山伏が柿を盗み食いする場面と、柿の持ち主にからかわれてついには鳶の真似をして木から飛び降り、腰を打つという滑稽な物語です。狂言の特徴である、観客に想像力を刺激させながら楽しませる大らかな表現が随所に見られる作品で、国語の教科書にも取り上げられるなど、狂言の中でも特に親しまれている演目一つです。



【狂言・「柿山伏」の鑑賞】

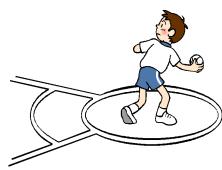


女子幅跳びで県優勝！県陸上記録会

10月28日（火）前橋敷島陸上競技場で県小学校陸上記録会が開催され、西小からはフィールド競技（男女走り高跳び男女各1名、男子ソフトボール投げ2名、女子走り幅跳び2名）で6名の児童が出場しました。中でも、5・6年女子共通走り幅跳びでは、本校の6年のTさんが、多くのライバルの記録を上回り見事に4m18cmで県優勝を果たす快挙を達成しました。これは本当に素晴らしいことです！その瞬間は、私たち桐生市選手団の目の前で訪れ、次々と跳躍する他の選手との記録の違いに観戦していた人たちからは思わず「おー！」と声が上がり、自然と拍手がおこる跳躍でした。



今回、桐生市の代表として大きな舞台に参加した経験は、これから的人生において単なる思い出だけに止まることなく、大きな自信につながるものと思います。皆さんお疲れ様でした。



<お知らせ>

右のQRコードから西小のWebページをご覧いただくと、過去の「学校だより」等がご覧いただけます。



西小ホームページ

2学期 授業参観開催

10月30日（木）、11月7日（金）の2日間、学年を分けて授業参観を行いました。両日とも多くの保護者の方に参加していただきました。

低学年の子どもたちは、保護者の皆さんが来てくれたことが素直にうれしくて、後ろの保護者の方をチラチラ見ながら、張り切って授業を受けていた印象でした。高学年になると少し恥ずかしそうではありましたが、やはり保護者の方が見えるとやはりうれしそうでした。



【6年2組国語の授業の様子】

ご都合をつけていただき、参加していただいた皆様に感謝申し上げます。今後も親子行事や持久走大会等の機会もありますので、お子さんの学校でがんばっている様子をご覧いただくとともに、激励をよろしくお願いします。

西小の取組紹介⑪

がんばっている西小の子どもたちや先生方を紹介します！

桐生市理科学習発表会②

10月16日（木）市文会議室において桐生市小学校理科学習発表会が開催され、西小からは5年生と6年生から3つの自由研究の成果を6人の子どもたちが発表してくれました。市理科学習発表会で発表してくれた子どもたちの研究の概要②をご紹介させていただきます。

「トランプ銃のトランプはどう飛ぶのか？」 6年 Cくん Mくん

- ①きっかけ：漫画「まじっく快斗」の必殺アイテムトランプ銃の制作に興味があった
- ②実験方法：水平、垂直、ゴムの本数、トランプの重さをそれぞれ変えて飛び方を調べる
- ③予想：(1)垂直の方が飛距離が伸びる(2)ゴムを増やせば威力が増す(3)軽くすれば飛距離が伸びる
- ④結果：(1)ゴムは4本より8本の方が、縦より横の方が（ジャイロ効果）飛距離が長い。
(2)弾が軽い方がよく飛んだ。ゴムが多ければよいということではない
- ⑤感想：友だちと協力して行うことで楽しさと達成感を感じることができた。3年生の理科ではゴムの本数が多いほど車がよく走ったが、弾を飛ばすには多すぎると飛ばないことが分かった。



【成果を発表する児童】

＜理科部会からの指導好評＞

- ・漫画の世界から興味をもち、自分たちでも挑戦してみようという発想で、実験を行ったことがすばらしい。条件を変えて実験をくり返し行い、結果を丁寧に計測し積み上げ、考察することができていた。そこでの「なぜ？」を自分たちで調べるところまでできていたこともすばらしい。友だちと一緒にすることで、達成感だけでなく、自分と違った考えにも触れることができたと思います。

「何のえきたいが一番光を拡散する？」 5年 Oさん Kさん Yさん

- ①きっかけ：実験が防災に役立てればよいと考えた
- ②実験方法：様々な液体に光をあて一番光が拡散するものを調べる実験を行った
コーラ、コーヒー、牛乳、炭酸水、水、スポーツドリンク
- ③予想：(1)白が光を拡散しやすいのではないか
(2)透明な液体が光を拡散しやすいのではないか
(3)光るイメージがあるコーラやコーヒーではないか
- ④結果：(1)拡散した順に①スポーツドリンク→炭酸水・水→牛乳→コーラコーヒー
半透明なもの、白いものが光を拡散することが分かった
- ⑤まとめ：災害時にライトを置くよりも半透明な液体の入ったペットボトルにライトを当てた方が明るくなることが分かった。これからも科学の力で少しでも生活が豊かにできればよいと思った。



【成果を発表する児童】

＜理科部会からの指導好評＞

- ・防災に役立つ素晴らしい研究実践でした。日頃から防災に関する意識が高いみなさんはすばらしいと思います。また、科学の力で生活をより豊かにしたいという感想も大変よかったです。今回は、明るさを感覚的に評価しましたが、今後は照度計などを使って数値化してみるのもよいでしょう。数値化すると研究の説得力を増すことができます。



「季節を感じる」

教頭先生から

今年の夏は異常でした。2学期が始まってからも毎日35度を超える日が続きました。6月から暑いのと今年は梅雨もあったのか、なかったのか遠い記憶の彼方です。「春は、あけぼの。…夏は夜。…秋は夕暮れ。…。冬はつとめて。…」清少納言が枕草子で言っていたように、四季の移ろいを感じ味わえるのが日本の良さだと思います。これから日本の季節はどうなっていくのでしょうか。

先日、ニュースでドライアイスを活用して雨を降らせることができる研究を紹介していました。天気もコントロールしてしまうとは、人間の能力のすごさを感じました。残念ながら、実現には、もう少し時間がかかりそうです。だから、まだまだ季節を感じることはできます。今年、私が感じた秋をいくつか紹介します。

- ①日が暮れるのが徐々に早まり、オレンジ色からセピア色とにだんだんと変化する職員室から見える空の景色
- ②2年生と一緒に行った校外学習「こどもの国」で爽やかな風とともに聞こえた子ども達のはしゃぐ声
- ③秋の夜長、窓を開けて、虫の声をバックミュージックにスマホを閉じて本を読もうと思った時



今年の秋は短いと聞いていますが、11月末までは、少しずつ秋の深まりを感じたいと思っています。「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」…。〇〇の秋は、たくさんあります。私は「深まりの秋」だと個人的には思います。秋をたくさん感じるようになったので、何を深めようか考えています。